

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

| | | | | | | | | |
|--|---|----------|-------------------|---|----------|--------------|----------|-------------|
| 事業名 | UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」支援 | | 担当部局 | 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 | | 作成責任者 | | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成20年度 | | 担当課室 | 循環型社会推進室 | | 室長 永島 徹也 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | 施策名 | 4-1 国内及び国際的な循環型社会の構築 | | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | 循環型社会形成推進基本法(平成十二年六月二日法律第百十号)第三十一条・・・『国際的協調のための措置』 | | 関係する計画、通知等 | 循環型社会形成推進基本計画第5章『国の取組』第3節『海外との関係における資源循環』、3Rイニシアティブ | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内) | 持続可能な社会と資源管理のあり方を世界レベルで科学的に検討する場として、国際的に重要な位置づけとなっている国連環境計画(UNEP)「持続可能な資源管理に関する国際パネル」(UNEP資源パネル)の事業活動へ参加することにより、世界各地の横断的な課題解決に寄与する。 | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以 内。別添可) | 資源分野における世界の著名な科学者及び専門家による独立したパネルである国連環境計画(UNEP)「持続可能な資源管理に関する国際パネル」(UNEP資源パネル)では、天然資源の利用によるライフサイクルにわたる環境影響に関する独立した科学的評価を行うとともに、これらの影響を低減する方法に関する理解の増進のための活動を行っている。このパネルの活動を支持し日本の課題を含め世界規模での課題解決に向けた検討を進めるため、同パネルに対して、参加国として応分の拠出を行う。 | | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 | | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) | 予 算 の 状 況 | 当初予算 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度要求 | |
| | | 修正予算 | 18 | 16 | 15 | 14 | 14 | |
| | | 繰越し等 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 執行額 | 18 | 16 | 15 | 14 | 14 | | |
| | 執行率(%) | 100 | 100 | 100 | | | | |
| 成果目標及び 成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値 (年度) |
| | 「持続可能な資源管理に関する国際パネル」の活動により、世界の資源消費が抑制され、環境影響が低減されることを目的としているため、定量的な成果目標の設定が困難である。 | | 成果実績 | | | | | |
| 活動指標及び 活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度活動見込 |
| | UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」報告書公表数 | | 活動実績 (当初見込み) | 報告書 公表数 | 1 (1) | 2 (2) | 2 (2) | — (5) |
| 単位当たり コスト | 7.5 (百万円/件) | | 算出根拠 | 執行額/報告書公表数 | | | | |
| 平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳 | 費目 | 24年度当初予算 | 25年度要求 | 主な増減理由 | | | | |
| | 経済開発機構等拠出金 | 14 | 14 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 計 | 14 | 14 | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|---|--|--|
| | 評価 | 項目 | 評価に関する説明 |
| 目的・予算の状況 | － | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | 国連環境計画(UNEP)「持続可能な資源管理に関する国際パネル」(UNEP資源パネル)の事業活動へ参加するもの。 |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 | |
| | － | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、使途・費目 | － | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | UNEPから拠出金の使途についての資料提供を受け、内容の把握を行った。 |
| | － | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | － | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | － | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績、成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | 国連環境計画(UNEP)「持続可能な資源管理に関する国際パネル」(UNEP資源パネル)の事業活動へ参加することにより、世界各地の横断的な課題解決に寄与できるものと考え、今後とも不可欠な事業である。 |
| | ○ | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | ○ | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | － | 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 | |
| | ○ | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検結果 | 平成23年度においては、「デカップリング」と「金属のリサイクル率」に関する報告書が発表されており、パネルとして着実に成果を上げている。また、拠出先であるUNEPから拠出金の使途についての資料提供を受け、内容の把握を行った。 | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| 現状通り | 効果と使途に留意しつつ、引き続き必要最低限の拠出となるよう検討を進めること。 | | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| － | | | |
| 補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載) | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | |
| 平成22年行政事業レビュー | 112 | 平成23年行政事業レビュー | 106 |

※平成23年度実績を記入

環境省
15百万円

【拠出金】

A. 国連環境計画(UNEP)
持続可能な資源管理に関する国際パネル
15百万円

資源分野の著名な科学者及び専門家による「持続可能な資源管理に関する国際パネル」を設立。同パネルにおいて必要な議論が行われるべく、必要な事務局の管理・運営に要する費用の拠出。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

| A. 国連環境計画 (UNEP) 「持続可能な資源管理に関する国際パネル」 | | | E. | | |
|--|--|--------------|----|-----|--------------|
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 拠出金 | 資源分野の著名な科学者及び専門家による「持続可能な資源管理に関する国際パネル」を設立。同パネルにおいて必要な議論が行われるべく、必要な事務局の管理・運営に要する費用の拠出。 | 15 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 15 | 計 | | 0 |
| B. | | | F. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| C. | | | G. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| D. | | | H. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|---|--|--------------|------|-----|
| 1 | 国連環境計画(UNEP) 「持続可能な資源管理に 関する国際パネル | 資源分野の著名な科学者及び専門家による「持続可能な資源管理 に関する国際パネル」を設立。同パネルにおいて必要な議論が行わ れるべく、必要な事務局の管理・運営に要する費用の拠出。 | 15 | 拠出金 | — |